

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年8月9日

上場会社名 田淵電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6624 URL http://www.zbr.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 小野 有理  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 徳原 英真 (TEL) 06-4807-3500  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,275	△9.4	180	—	159	—	76	—
2019年3月期第1四半期	5,824	△18.3	△815	—	△697	—	△743	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △14百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △837百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.80	—
2019年3月期第1四半期	△18.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	17,977	4,010	22.3
2019年3月期	18,428	4,025	21.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 4,010百万円 2019年3月期 4,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	△20.0	180	—	150	—	△200	—	△2.10
通期	21,000	△10.9	300	—	200	—	△200	—	△2.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	104,332,436株	2019年3月期	104,332,436株
2020年3月期1Q	8,909,460株	2019年3月期	8,909,460株
2020年3月期1Q	95,422,976株	2019年3月期1Q	40,417,517株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用や所得環境の改善を背景とした堅調な個人消費により景気は底堅く推移しましたが、欧州は成長率が低迷しました。また、中国では米中貿易摩擦を背景とする経済の下振れ懸念が高まっております。わが国経済においては、雇用情勢や企業収益が堅調に推移し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の下、当社はダイヤモンドエレクトリックホールディングスグループの一員となり、グループ内でのパワーコンディショナ製品についての技術提携、営業戦略の連携、徹底したコストダウンによる財務体質の改善などの取組みにより、経営資源の有効活用を推進して参りましたが、その成果が現れ、変成器事業及び電源機器事業の損益状況が改善いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は5,275百万円（前年同期比9.4%減）と減収となりましたが、固定費削減により営業利益は180百万円（前年同期は営業損失815百万円）、経常利益は159百万円（前年同期は経常損失697百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は76百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失743百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①変成器事業

変成器事業は、前連結会計年度にテクノ電気工業株式会社及びマルシュナー田淵電機を譲渡したことにより、売上高は1,963百万円（前年同期比30.4%減）となりましたが、固定費削減により営業利益は77百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

#### ②電源機器事業

電源機器事業は、アミューズメント用電源は減少したものの住宅用の蓄電ハイブリッドシステムが大幅に伸長し、産業用パワーコンディショナも回復したため、売上高は3,312百万円（前年同期比10.2%増）となり、営業利益は固定費削減の効果もあり137百万円（前年同期は営業損失858百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は17,977百万円となり、前連結会計年度末に比べて450百万円減少しました。これは主として現金及び預金が466百万円減少したことによるものであります。

負債は13,967百万円となり、前連結会計年度末に比べて435百万円減少しました。これは主として、短期借入金が510百万円減少したことによるものであります。

純資産は4,010百万円となり、前連結会計年度末に比べて14百万円減少しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益76百万円の計上及び為替換算調整勘定が96百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想は、本資料及び本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。詳細につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,573	4,106
受取手形及び売掛金	3,555	3,471
電子記録債権	86	141
商品及び製品	1,865	1,790
仕掛品	284	328
原材料及び貯蔵品	1,634	1,974
その他	864	719
流動資産合計	12,864	12,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,156	1,141
機械装置及び運搬具（純額）	801	759
その他（純額）	618	661
有形固定資産合計	2,576	2,562
無形固定資産		
	109	106
投資その他の資産		
投資有価証券	1,514	1,453
退職給付に係る資産	65	69
その他	1,298	1,255
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,877	2,777
固定資産合計	5,563	5,446
資産合計	18,428	17,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,053	2,185
電子記録債務	808	1,070
短期借入金	795	284
1年内返済予定の長期借入金	18	132
未払法人税等	59	38
賞与引当金	175	159
製品保証引当金	224	222
その他	1,935	1,740
流動負債合計	6,072	5,835
固定負債		
長期借入金	4,047	3,928
退職給付に係る負債	552	563
長期前受収益	3,131	3,102
その他	599	537
固定負債合計	8,331	8,132
負債合計	14,403	13,967
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,111	5,111
資本剰余金	1,499	1,499
利益剰余金	△2,217	△2,141
自己株式	△21	△21
株主資本合計	4,372	4,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	3
為替換算調整勘定	△370	△467
退職給付に係る調整累計額	17	26
その他の包括利益累計額合計	△346	△437
純資産合計	4,025	4,010
負債純資産合計	18,428	17,977

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,824	5,275
売上原価	5,285	4,241
売上総利益	538	1,033
販売費及び一般管理費	1,354	853
営業利益又は営業損失(△)	△815	180
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	4	4
為替差益	158	—
持分法による投資利益	16	13
その他	11	37
営業外収益合計	193	59
営業外費用		
支払利息	33	13
為替差損	—	45
支払手数料	27	—
その他	13	20
営業外費用合計	74	79
経常利益又は経常損失(△)	△697	159
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
減損損失	84	43
その他	—	5
特別損失合計	84	49
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△782	114
法人税、住民税及び事業税	46	21
法人税等調整額	△85	16
法人税等合計	△38	38
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△743	76
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△743	76

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△743	76
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△3
繰延ヘッジ損益	△8	—
為替換算調整勘定	△53	△26
退職給付に係る調整額	2	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	△70
その他の包括利益合計	△93	△90
四半期包括利益	△837	△14
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△837	△14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間の期首より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産及びリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却とリース債務に係る支払利息を計上しております。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従って、累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

本基準の適用に伴い、当第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産の「その他(純額)」に含まれる使用権資産が87百万円、流動負債の「その他」が60百万円、固定負債の「その他」が27百万円、それぞれ増加しております。

なお、この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額(注2)
	変成器事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,818	3,005	5,824	—	5,824
セグメント間の内部売上高 又は振替高	232	—	232	△232	—
計	3,050	3,005	6,056	△232	5,824
セグメント利益又は セグメント損失(△)	74	△858	△784	△31	△815

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△31百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額(注2)
	変成器事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,963	3,312	5,275	—	5,275
セグメント間の内部売上高 又は振替高	196	—	196	△196	—
計	2,159	3,312	5,471	△196	5,275
セグメント利益	77	137	214	△34	180

(注) 1. セグメント利益の調整額△34百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。